



冬季における牛のウイルス性疾病について

晩秋から初春にかけて発生する集団下痢や風邪の代表的なものとして、牛コロナウイルス病や牛RSウイルス病があります。

本県においても、牛コロナウイルス病や牛RSウイルス病が発生しております。

【牛コロナウイルス病】

- ・症状：子牛や成牛に下痢・呼吸器症状を起こし、搾乳牛では乳量の大幅な減少を起こすことがあります。
- ・感染：ウイルスは主に下痢便中に排出され、経口・経鼻感染します。

【牛RSウイルス病】

- ・症状：発熱、発咳を主徴として、細菌やマイコプラズマとの混合感染で症状が悪化します。
- ・感染：ウイルスは主に鼻汁中に排出され、経口・経鼻感染します。

対策

良好な飼養環境を保ってください。

(牛舎内外の清掃・消毒、十分な換気、密飼いの防止等)

病気を侵入させないようにしてください。

(車両用消毒帯や踏み込み消毒槽の設置等)

ワクチンの接種も有効です

かかりつけの獣医師か家畜保健衛生所までご相談ください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄345番地

TEL(0463)58-0152 FAX(0463)58-5679